

長岡市の協働が目指すビジョンとSDGs

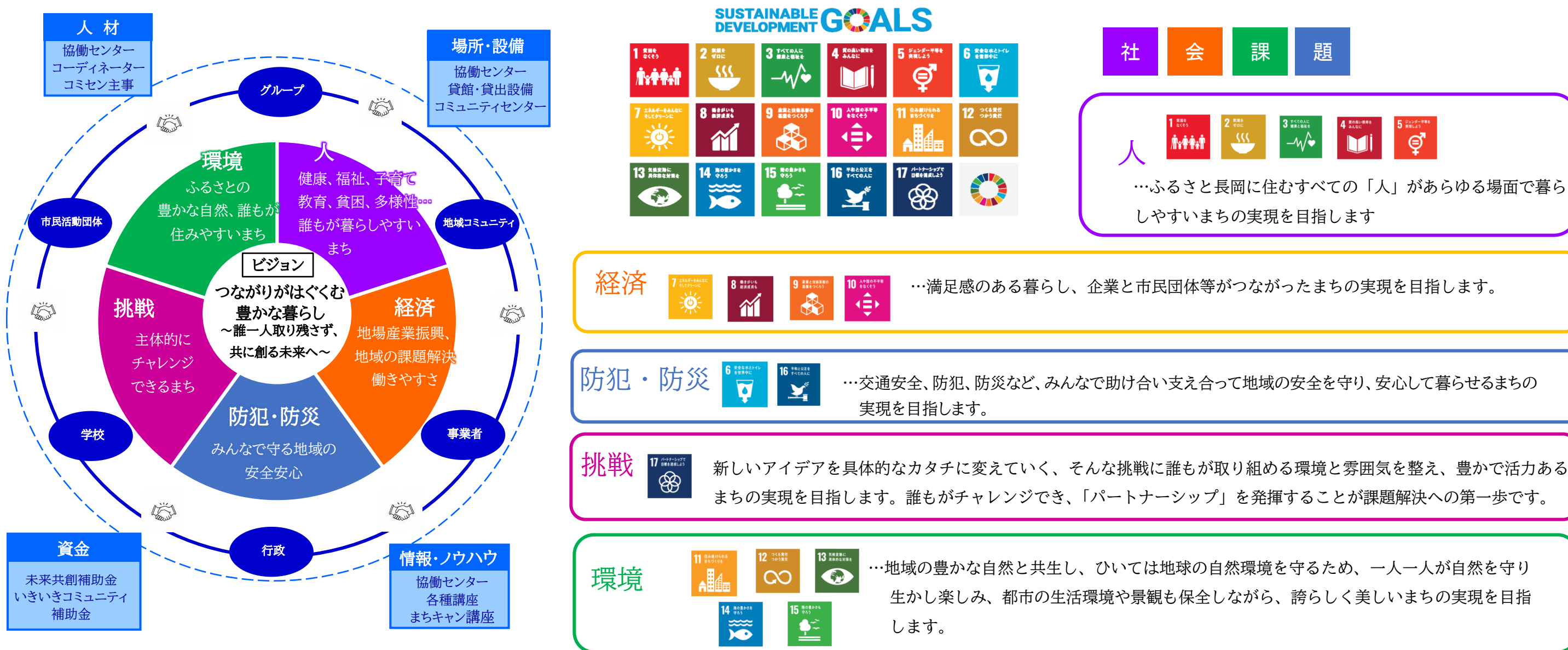
■2025年までの長岡市の協働が目指すビジョン

つながりがはぐくむ豊かな暮らし～誰一人取り残さず、共に創る未来へ～

長岡市は、度重なる自然災害などを乗り越え着実な発展を続けています。しかし急速に進む少子高齢化や人口減少など決め手の見いだせていない重要課題に直面していることも事実です。一昨年からコロナ禍により格差の広がりや分断が続く中、今こそ市民協働条例の理念に立ち返り、市民一人ひとりが持続的に発展しつづけるまちづくりのために何をすべきか考え、互いにつながり合いながら行動し、将来にわたって安心して心豊かに暮らし続けられる「ふるさと長岡」を「共創」していくことが大切だと考えています。「持続可能なまちづくり」「誰一人取り残さない」はSDGsの目標であり、長岡市の協働が目指すビジョンとも親和性が高いです。

■ビジョンのイメージ

社会における様々な課題はSDGsの17の目標を包含しています。各主体はSDGsを意識しそれぞれの強みを生かして持続的に発展しつづけるまちづくりのためにできること・やりたいことに主体的に取り組みます。市は、市民協働センターの運営、未来を創る市民活動応援補助金による活動支援などのリソースを最大限生かして、市民の自発的・主体的活動の芽をはぐくみつつ、つながりを絶やさないよう促します。



ビジョンの根幹となる基本理念（長岡市市民協働条例 第3条より）

1. 市民と市は、協働のまちづくりを推進することにより、将来にわたり市民の更なる幸せな生活の実現を目指すものとする。
2. 市民と市は、それぞれがまちづくりの主役として、自発的に活動するものとする。
3. 市民と市は、それぞれの特性の違いを活かし、自助・共助・公助の理念にのっとり、相互に補完し合いながら、まちづくりを行うものとする。